

トップ > ひと > 社員をネギで「ねぎらう」アイデア社長 インスタ映えグルメ手当、オフィスに小説マンガ5000冊

社員をネギで「ねぎらう」アイデア社長 インスタ映えグルメ手当、オフィスに小説マンガ5000冊も

今井 佳奈

2022.11.23(Wed)

11月23日の勤労感謝の日にあわせ、兵庫県内の工場設備商社「吉岡興業株式会社」で22日、社長が社員にネギを贈り「ネギらう」イベントが行われた。



ねぎらいメッセージを付けたネギ（岩津ねぎは試食用を使用）

吉岡洋明社長が、手書きの感謝コメントを付けたネギを従業員30名に贈呈。「補助金（手続き）ありがとう」「ひびがよくなりますように」などそれぞれをねぎらった。コロナ禍で、売り上げが激減した主力事業にかわり全社をあけて別事業に注力してきたといい、「慣れないことをするのは大変」と社員の苦勞を思いやった。

アイデアマンの吉岡社長は、従業員が楽しめるさまざまな企画を行ってきた。今年7月には神戸のグルメを紹介するInstagramのアカウント

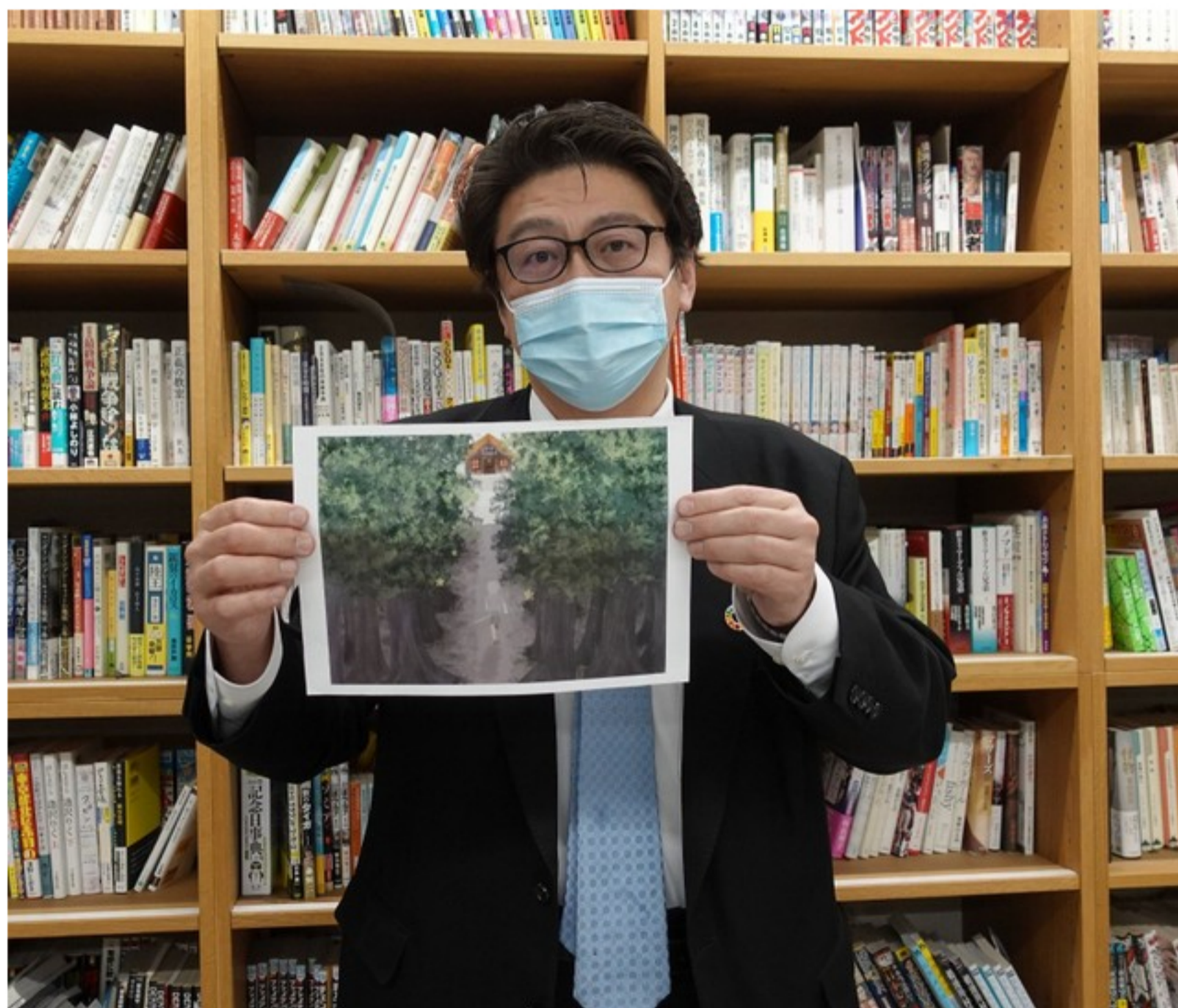
（@kobe_minato_navi）を始動。従業員が食べに行った「インスタ映え、な料理」の写真を掲載している。SNS担当者に限らず、全従業員から写真を募集。飲食費用は1回2000円まで会社が太っ腹に負担する。



流星スイーツ、いちじくパフェ、すだちそばなどインスタ映えもたくさん！吉岡興業のアカウント「神戸みなとNAVI」より

10月には「シュッとし手当」を導入。関西でスタイリッシュな体形を意味する「シュッとして」と「手当」をかけたネーミングで、ランニングシューズや健康器具の購入など運動のためにかかる費用を2000円まで負担した。従業員からも好評で「ほとんどみんな」が制度を利用したという。

オフィスの壁一面には社長が集めた約5000冊の小説やマンガ、実用書が並ぶ。従業員は自由に手に取り、借りて帰ることもできる。読書家の吉岡社長は自らがストーリーを考え、社員がイラストを描くオリジナル絵本も制作中。「ネットフリックス社から映像化の話が来たら7億円で売ろうと思ってる（笑）。会社の仕事としてやっているの、印税が会社に一生入ってくることになる」と野望を語っていた。



オリジナル絵本を制作中の吉岡洋明社長



社内にYouTube撮影スタジオを作り、撮影担当者（右）と笑顔の吉岡洋明社長

1ブロック	福二、四股。 29200 4050	一発、見ろ。 180 36
2ブロック	庭の予算、50万円。 28000 4350	3本の糸、ゴ-!ゴ-! 3110 550
中四国	いろもん夫婦。 16000 2200	遠い石。 1010 140
全社ミドル	波二、寅。 73200 10600	予算、何? 6万円。 4500 726
全社通期	富士、味噌屋。 220000 30800	

語呂合わせ好きの吉岡社長は売り上げ目標数値も語呂合わせで社員に周知した